



「 A w e s o m e 」

フィリピンでの留学生時代の時、英語クラスの最終課題にこのような課題が出されました。これに受かれば目標としていた本科生として聖書の学びが出来るし、これに落第すると半年くらい英語の勉強をやり直さなければいけない、とっても大きな課題でした。歴史上の宣教師だれか一人を選んで、その人がどのような働きをしたか、クラスの皆に発表するというものでした。私はグラディス・エイルウードというイギリス人女性宣教師を選びました。この女性宣教師は、神学生時代とても落ちこぼれだったそうです。そして成績不振の為、落第しました。多くの先生方は彼女が宣教師になる事が難しいと考えましたが、彼女は夢をあきらめませんでした。最終的にビジョンとして持ち続けた中国人宣教師となり、多くの人に福音を語る人となりました。

多くの生徒達が様々な資料を用い、そして流暢な英語で宣教師を紹介していくのに対して、私がこの女性宣教師を紹介するために使った方法はスキット(一人芝居)でした。一人二役で、落ちこぼれ時代のエイルウードと落第させた教官を演じました。つたない英語で「あなたは落第です！！」「ノー！！私は宣教師になりたいんです！！」と熱演しました。後半部分は自分の出来る限りで調べた資料を基にこの宣教師の働きをスピーチしました。この宣教師を紹介している中でいつの間にか、自分の状況と重ね合わせていました。幾人かの人が私に向かって「この留学は成功しないと言っていたからです。」当然だと思います。留学前の私の英語力は中学 3 年生程度、大学院で聖書の勉強なんてとても出来るものではありません。ここで落第したら日本に帰る覚悟で、今まで勉強してきたことを全部振り絞って捨て身の覚悟でこの宣教師を紹介しました。全てを終えた時、熱心にずっと黙って聞いていた教官が

「Awesome！」(最大級の賛辞で素晴らしいと言う意味)と拍手してくれました。いつもギリギリで進級していた私ですが、この最終課題に関しては、クラスで一番の成績がつき、この年進級することが出来ました。

I サム 16:7 に「人はうわべを見るが、【主】は心を見る。」とあります。私達が物事を悲観する時に、必ずと言っていいほどしてしまっているのが、回りの状況と自分の状態を比べてしまう事です。主が見ておられるのは私達の心です。主はその人が今まで何をしてきたか、何を持っているかを問いません。今という時にその心を主に差し出す人々を求めておられます。私達の信仰が挫けそうな時、倒れそうな時、その心を支えるのは主から受け取ったビジョンです。私のビジョンは英語を用いて、世界の人々と交流し共に福音を延べ伝えていく事です。アーメンとはその通りになりますように、という意味があります。アーメンと告白した、その私の心を見られた神様が様々な形で道を開いて下さいました。そしてこれからもそうだと信じています。私達は何かをしたから素晴らしいのではありません。一人一人が神様によって創られた「素晴らしい」「Awesome」な存在だから、何かが出来るのです。私達は一人一人、神様からの計画を頂いています。共に勇気をもって神の御前に進み続けるものとなりましょう。

